



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙ほか. 日本外科宝函 1952, 21

ISSUE DATE:

1952-11-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/205419>

RIGHT:

ARCHIV  
FÜR  
JAPANISCHE CHIRURGIE

XXI. XXII. BAND, 1952. 1953.

日本外科寶函

第21・22卷

昭和27・28年

INOKO-ITO-VEREIN  
CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK  
KYOTO JAPAN

京都大学医学部外科学教室内

日本外科寶函編輯室

(Arch. Jap. Chir.)

## 21 卷 総 目 次

## 原 著

経静脈性脂肪輸入に関する研究	日笠頼則他 (1)
脳膿瘍の成立にアレルギーが関係するか	登山威夫 (14)
髄膜炎時に於る海馬部脳内への環状細胞浸潤の波及に就て	登山威夫 (29)
疼痛に関する実験的研究 (I)	大場一誠 (31)
骨関節結核症に於る肝臓機能に就て、特に手術の影響(I)	手島宰三 (47)
関節結核に於る膿汁の化学的研究	笠井実人 (58)

## 症例報告

痛風の一例	服部 奨 (73)
ばね肩の一例	手島宰三 (78)
前縦隔皮様嚢腫の剔出治験例	佐藤 堯 (84)
外傷性遅発性腸管穿孔の経験	黒田秀夫 (89)
網状繊維腫 (Reticulom)	林 孝夫 (90)

## 22 卷 総 目 次

## 綜 説

外科に於るヒステリー	荒木千里 (1)
内臓の痛みをめぐる諸問題	木村忠司 (59)
骨格筋に於ける神経終末に就て	近藤鋭矢 (303)
肺臓免疫の特殊性	青柳安誠 (575)

## 原 著

痛覚に関する実験的研究 (II)	大場一誠 (7)
骨関節結核症に於ける肝臓機能に就て、特に手術の影響(II)	手島宰三 (19)
保存血輸血の腎臓機能に及す影響	松木軍太, 横山育三 (30)
破傷風痙攣の実験的研究	横井 亘 (67)
静脈内脂肪輸入に関する組織学的研究 (I)	麻田 栄 (77)
脊柱損傷の研究 (I)	服部 奨 (91)
肺小葉を中心とする気管支系の構造と人工気胸術の適応	長沢直幸 他 (105)
自律神経性液性作用物質に関する実験的研究	勝田泰成 (111)
脳皮質障害と全身麻酔 (実験的研究)	紺田健太郎 (124)
肺結核症に於ける副腎機能に就て	中谷朝之 (132)
Rh <sub>0</sub> Factor in Japanese. Its Relation to Transfusion Reactions	Ikuzo Yokoyama (179)
Specific or Unspecific Antibodies Appearing in the Cerebrospinal Fluid in Some Experimental Meningitides	Hiroshi Sumi (193)
膿瘍蛋白質に関する研究	窪田秀雄, 宮村 研, 成田俊三, 川北博明, 国賀宏哉 (206)
静脈内脂肪輸入に関する組織学的研究 (II)	麻田 栄 (217)
頭部外傷——種々の観点よりの統計的観察	岡崎 忠夫 (231)
大脳皮質刺激による胃腸運動に関する実験的研究	小野 博秀 (251)
腱紡錘の研究	桐田良人 (269)
筋緊張度の異常が該筋の神経要素に及ぼす影響について (I)	吉川 栄一 (276)
手術後腹腔内癒着防止に関する研究	麻生 弘 (310)

B. C. G. による肺臓免疫方法の比較に関する実験的研究	杉本雄三	(321)
脊柱損傷の研究 (Ⅱ)	服部 奨	(335)
脾臓手術特に脾全剝後の血清アミラーゼ値の変動——血清アミラーゼ値測定の脾疾患 診断に対する意義	上野 洋	(346)
骨格筋の神経終末に関する実験的研究特にその再生に就て	小寺 寿治	(355)
特発性坐骨神経痛の治療に関する実験的研究	小寺 寿治	(368)
筋緊張度の異常が該筋の神経要素に及ぼす影響について (Ⅱ)	吉川 栄一	(374)
足部に於る脊髓小児麻痺後胎症の治療に就て	有原 康次	(415)
胃、十二指腸潰瘍に対する胃迷走神経切除術の作用機序に関する研究	龜ヶ谷 寿彦	(431)
A Histological Study of the Dual Afferent Innervation of the Esophagus of the Dog	田中 信義	(439)
Histologic Changes of the Spinal Ganglia, the Spinal Cords and the Medulla Oblongata Caused by Repeated Applications of Strong Electric Currents	波多腰 正彦	(446)
コード油障壁に関する実験的臨床的研究 (Ⅰ) (Ⅱ)	森 益太, 服部 奨	(459)
脊柱損傷の研究 (Ⅲ)	服部 奨	(472)
骨格筋に於る神経障害に関する実験的研究	桐田 良人	(480)
特発性食道拡張症に関する研究	田中 信義	(491)
脾臓手術特に脾臓全剝後の消化吸収能力に就て	浜野 研藏	(500)
骨関節結核病巣の廓清術に関する実験的研究	大谷 寿	(509)
神経癱に於ける皮膚神経の生体及超生体染色	福田 哲雄	(525)
肺結核症に於ける副腎皮質ホルモン及びビタミン C 併用療法の効果に就て	中谷朝之, 中島 正	(527)
関節結核の初期旺盛期に対する病勢鎮静化促進方策に関する実験的研究	大谷 寿	(533)
Experimental Study of Reflex Shock	Shigeru Iida	(579)
感電死の脳に於ける組織学的変化	波多腰 正彦	(609)
Glioblastoma Multiforme に就て	黄 雲 裳	(614)
所謂蜘蛛膜炎 (頭蓋腔内) の成立機序に関する実験的研究	頼 島 元	(625)
背負袋による上膊神経麻痺の臨床像とその発生素因に就て	島本忠明, 桑原政一	(635)
骨形成的椎弓切除術の臨床的及び実験的研究 (Ⅰ) (Ⅱ)	藤田 英和	(643)
手術後食餌表と献立表の 1 試案	島本忠明, 桂 英輔, 吉川雪恵	(662)

# 症例報告

リチャード氏病でなく椎間軟骨ヘルニアであつた一例	森山元一, 横田友二	(40)
全身性転移を来した食道扁平上皮癌の一例	木下 纈一郎	(44)
Ectopic Pinealoma	Noburu Hoshino	(145)
仙腸関節結核に対する病巣廓清術と死腔の処置に就て	桐田良人, 中島秀典	(148)
巨大なる全層植皮の経験	桐田良人, 円井一示	(155)
脾腫を疑われた後腹膜皮様嚢腫の一例	田 辺 賀 啓	(159)
後部縦隔に発生した肉芽腫の剔出治験例	麻 田 栄	(285)
外傷性膀胱破裂の一例	袴 田 文 治	(290)
肩甲骨に発生した孤在性外骨腫の一例	相 馬 秀 臣	(295)
Crohn 氏病後に発生せる腸肉腫	甲 賀 熹 六	(382)
慢性局所性腸炎の一例	宮 岡 邁	(388)
興味あるスポーツ骨折の二例	笠井実人, 岡田司郎	(392)
左股関節脱臼右太腿仮関節を合併せる骨盤骨折の一例	吉 峰 泰 夫	(396)



極めて興味ある経過を辿つた泌尿器結核症の一例	真 先 敏 邦 (401)
痙性偏癱に於る骨格筋の神経終末	吉 川 栄 一 (406)
Clinical Experiences with B. E. S. (Balanced Electrolyte Solution)	半田 肇 他 (542)
剖検により発見したる頸椎々間ヘルニア	服 部 奨 (546)
右鎖骨上窩に転移を伴つた前縦隔基底細胞癌の剔出例	伊勢田 幸 彦 (553)
右側潰瘍性大腸炎の1例	宮 岡 邁 (556)
先天性両側肩胛骨高位症の1例	小寺寿治, 吉川栄一 (559)
脊髓小児麻痺に於る骨格筋の神経終末に就て	吉 川 栄 一 (563)
典型的な虫垂癌の1例	源河朝明, 沢村俊幸 (672)
原因不明の胆道出血の1例	津田 安, 端野博康 (676)
離断性骨軟骨炎に就て	有原康次, 藤田英和 (680)
遊離椎間板片による根性坐骨神経痛	土 居 秀 郎 (687)
気管枝癌の手術治験例	緒 方 武 (691)
不動性萎縮筋に於ける神経要素に就て	桐 田 良 人 (697)

## 人 名 索 引

## A

赤 星 義 彦 164  
 安 藤 協 三 570  
 青 木 秀 夫 299, 410  
 青 柳 安 誠 410, 575  
 荒 木 千 里 1, 168, 169, 172, 192, 410  
 有 原 康 次 169, 410, 415, 680  
 麻 田 榮 21-1, 21-7, 77, 168, 169,  
 176, 217, 285, 301, 410  
 麻 生 弘 310  
 綾 仁 富 弥 169

## C

千 原 卓 也 168, 172, 173  
 中 司 延 匡 50

## D

土 居 秀 郎 568, 570, 687

## F

藤 田 榮 隆 21-98  
 藤 田 英 和 175, 569, 643, 680  
 福 島 浩 三 300  
 福 田 哲 雄 299, 525  
 福 山 精 三 郎 169

## G

源 河 朝 明 672

## H

東 健 一 郎 410, 568  
 日 笠 頼 則 21-1, 54, 169  
 袴 田 文 治 54, 163, 164, 172, 173, 290  
 浜 野 研 藏 410, 500  
 本 庄 一 夫 53, 169, 172, 299, 410  
 半 田 肇 57, 176, 411  
 堀 照 太 良 174  
 原 田 直 彦 164, 168, 701  
 広 瀬 俊 男 172

早 田 幹 夫 569  
 星 野 列 145, 175  
 長 谷 川 豊 男 21-9, 53, 167  
 長 谷 川 正 義 163, 174  
 波 多 腰 正 彦 446, 458, 609  
 服 部 奨 21-73, 91, 335, 459, 412, 546  
 端 野 博 康 163, 164, 300, 676  
 林 健 167, 170, 176  
 林 駿 平 172, 299  
 林 孝 夫 21-90, 21-97  
 林 培 夫 701

## I

伊 井 正 義 570  
 飯 田 茂 607  
 池 内 彰 569, 700  
 池 田 広 54, 166, 167, 171  
 今 井 昭 和 700  
 今 井 敏 彦 700  
 今 村 伸 二 21-95  
 稲 本 晃 53, 168  
 井 上 尙 史 55, 410  
 伊 勢 田 幸 彦 166, 410, 551, 570, 571  
 石 上 浩 一 411  
 石 黒 渥 164, 168  
 板 谷 博 之 51  
 伊 藤 直 樹 168, 170

## K

門 田 栄 一 52  
 景 山 直 樹 165, 168, 170, 175, 410  
 鎌 田 正 勝 171  
 龜 谷 寿 彦 431  
 鴨 井 清 隆 164  
 笠 井 実 人 21-53, 163, 392  
 片 岡 典 正 165, 172, 410  
 可 知 守 孝 56  
 加 藤 時 雄 57  
 桂 英 輔 662  
 勝 田 泰 成 111

川北博明	206
河村健二郎	21-49, 410
菊池宏文	169
木村忠司	59, 168, 169, 410
木下総一郎	44, 169
桐田良人	148, 155, 169, 269, 301, 480, 568, 697
国賀宏哉	206
紺田健太郎	124, 169
近藤鋭矢	168, 169, 303
近藤茂	52
黄雲裳	173, 614
甲賀薫六	382
小崎信志	410
越哲也	163, 176, 299
小寺寿治	355, 368, 559
笹田秀雄	206
久保田信孝	412, 700
九間外喜雄	163, 176, 569
栗田昌二	173, 174
黒田秀夫	21-89, 170
黒川正夫	21-95
黒沢実	164, 171
桑原政一	635

## M

牧文彦	166
裴和田卓朗	174, 410
南由人	166
守安久	49, 51, 53, 163, 172, 300, 301
森益太	5 4597,
森川正治	169
円井一示	155, 168, 172
森田信一	169
森山元一	40, 50, 51, 167
増田強三	50, 172, 410
武藤勇哉	569, 570
松木軍太	30, 410
松永守雄	49, 50, 163
宮村研	206
宮岡邁	388, 556
真先敏郎	172, 401
水取二郎	49

## N

野田文男	169, 542
野川徳三	176
野木村昭平	163, 164
長沢政行	105
名島俊一	172, 301
中原弘	166
中島秀典	149, 164, 301
中島晃	169, 542
中島正	529
中野進	52, 54
中谷朝之	132, 529
仲田清尙	21-1, 21-9, 164, 165, 169
中山昌和	568
南部正敏	300
西谷奎吾	410
西村周郎	50, 164, 169
西野忠之	169, 410
野島元雄	50, 163

## O

大場一誠	21-31, 7
緒方武蕃	168, 170, 299, 571, 691, 701
王維	51, 164
大石宏	51
大谷寿	54, 169, 509, 533
岡田司郎	392
小野百之助	164
小野博秀	251
岡本博史	105
岡本道雄	55
大川弘	169, 410
岡崎忠夫	231, 301
長洋	
大津章	169, 171, 410
大塚哲也	21-96, 50, 51, 52, 156, 167, 169
大谷明	50
大屋史朗	163, 172, 299

## R

林瑞庭	568
-----	-----

## S

坂田一記	411
佐藤和夫	54, 56
佐藤堯	21-84, 170, 171, 411
沢村俊幸	672
沢田蘇応三	167, 568
世良英則	56, 169
関谷慎	171
重永正之	412
島本忠明	635, 662
島田三千秋	50, 51, 55
白田佐	166
相馬秀臣	174, 175, 295
杉本雄三	320, 321, 568, 570
鷲見洋	204, 299, 569, 204

## T

土倉一郎	171
土屋涼一	300, 701
津田安	300, 676, 701
鄭逸民	166, 168
塚田朗	21-1, 169, 410
武田進	172, 173, 175, 410, 571
徳岡俊次	57, 167, 168, 169, 176
竹友隆雄	169, 410
竹内晴男	167
滝幸久	51
高山文三	175, 411
玉置光徳	172, 174
田辺賀啓	159, 569, 165, 175
田中実	21-96, 54, 56, 164
田中信義	171, 410, 439, 445, 491

手島宰三 21-47, 21-78, 19,  
51, 56, 163, 164

巽 亅 51, 54, 55, 172, 410  
登山威夫 21-14, 21-29

## U

上野 洋 52, 246, 410

## W

渡辺浩策 163

## Y

藪野重一 410  
矢形延寿 51  
八木力雄 172  
八牧力雄 49, 51, 53, 163, 167,  
168, 172, 301

山本竜藏 21-96, 164, 172, 411

山田憲吾 167, 169

山内皓 172, 175

山崎徳雄 169, 171

山添善朗 55

横井亅 67

横田彰 54, 165

横田友二 40, 167, 174

横山育三 30, 179, 192, 301, 410, 411

横山敏 568

頼島元 169, 625

吉川昭治 569

吉川栄一 276, 374, 406, 559, 563

吉川雪恵 662

吉峰泰夫 396

吉友睦彦 412

# 事物索引

## A

アクロパレステジア	54
悪性腫瘍(淋巴液)	55
悪性胎性混合腫瘍	57
アナフィラシギー	216
アレルギー	21-14, 169

## B

B. C. G.	321
B. E. S. (Balanced Electrolyte Sloution)	542
ばね肩	21-78
ビタミンC	529
バリダーゼトリブタール	172
膀胱破裂	164, 290
ブルンベルグ氏症候	53
ブロムサルファレイン法	21-50, 21-53
病巣廓清術	143, 509

## C

直腸癌	300
直腸狭窄	175
直腸切断	166
腸炎	388
腸重積症	166, 167, 170
腸閉塞	49, 166, 411
腸狭窄	168
腸骨淋巴腺結核	700
腸捻転	176
腸穿孔	21-89, 166, 170
知覚麻痺	169, 410
蜘蛛膜炎	169, 625
CO <sub>2</sub>	163
聴力障碍	21-99
超生体染色	525
虫垂炎	53, 163, 172
虫垂癌	672

## D

大動脈栓塞	53
-------	----

大網嚢腫	164
電撃	458
電気泳動法	54

## E

円柱上皮癌	172
エンドテリオーム(胸壁)	54
延髄	458
エルブ氏麻痺	300
エストロゲン	410

## F

不動性萎縮筋	697
腹部腫瘍	168
腹部外傷	170
腹壁神経繊維腫	172
腹腔内細胞	702
腹腔内癒着防止	310
副腎皮質ホルモン	529
副角妊娠破裂	560
噴門癌	300
封入細胞	410
封入体	172

## G

外反手	52
眼球運動障碍	41
顔面痙攣症チック	52
外科的結核症	51
五十肩	164
グラウイツツ氏腫瘍	164
グリオブラストーマ	614

## H

肺壞疽	172
肺ゴム腫	41
肺小葉	104
肺葉切除	32
肺臓癌	57
肺臓免疫	321, 572

半陰陽	166
破傷風	1, 67
閉鎖脱臼	172
閉鎖循環麻酔	410
ヘパトーム	412
ヘルペス	165
脾動脈結核	412
泌尿器結核	172, 401
ヒステリー (外科に於る)	1
ヒステリー性関節拘縮	174
皮様嚢腫	84, 159, 175
包含細胞	175
保存血輸血	31

## I

胃 癌	172
胃癌転移	165
胃全剝出	167
胃下垂	164
胃潰瘍	55
胃ポリープ	700
胃 石	163
イルガピリン	173

## J

痔 核	55
人工気胸	105
腎移植	168
腎水腫	165, 300
腎石症	174
腎臓機能	31, 410
自律神経	111, 169
上顎癌	410
上膊神経麻痺	635
静脈瘤	169
縦隔洞腫瘍	170
十二指腸穿孔	170
十二指腸憩室	175

## K

廻腸炎	171, 569, 700
潰瘍性大腸炎	556

化骨性脊髄膜肥厚	171
感電死 (脳)	609
環状細胞浸潤	21-29
寒性膿	21-98
関節鼠	299
関節結核	533
関節ロイマチス	173
肝腸吻合	174
肝臓癌	163, 164
肝臓機能	21-47, 19, 163
カリウム欠乏症	168
仮性嚢腫	301
下肢弛緩性麻痺	300
下肢壊疽	170
下垂体副腎機能	168
カウザルギー	166
頸部癌	163
頸動脈袂剝出	21-43
経静脈性脂肪輸入	21-1, 169, 410
結核性膿胸	50
血管腫	299, 700
血清コレステリン値	410
血清アミラーゼ	346, 410
血 栓	300
血中プロトロンビン	50
血糖値	140
血友病	57
腱紡錘	269
ケロイド	700
気管支系	105
気管枝癌	691
気管支異物摘出	21-95
筋緊張度	276, 374
基底細胞癌	551
項中隔限局性石灰症	164
股関節改造術	569
肛門狭窄	55
混合腫瘍	56
昏 迷	164
昏睡穿刺	410
コンテーン療法	50
骨盤切除	569
骨盤骨折	396

骨関節結核.....21-47, 21-58, 21-96, 21-97,  
19, 53, 163, 169

骨脱灰法.....54  
骨格筋.....303, 355, 406, 480  
骨髓巨態細胞.....171  
孤在性外骨腫.....175, 295  
空洞切除.....301  
クローン氏病.....382  
強直性脊椎関節症.....56  
求心性二重神経支配.....445

## M

マイアネシン.....164  
マンソン氏条虫.....701  
マリアミン.....21-95  
マルキー変性.....171  
麻酔.....216  
メニゴケーレ.....164  
ミクリッツ氏症候群.....55  
ミリガン氏法.....172  
網状組織.....21-90

## N

ナイトロミン.....168, 172, 411, 700  
ナイトロゼンマスタード.....53, 164  
内臓倒錯症.....163, 570  
軟骨腫.....175  
粘液腫.....615  
肉芽腫.....285, 410, 176  
ノイリノーム.....52  
脳波.....172  
脳皮質障碍.....124, 169  
脳浮腫.....169  
脳下垂体移植.....163  
脳下垂体機能.....170  
脳膜炎.....21-29  
脳膜脱.....175  
脳膿瘍.....21-14, 570  
膿清蛋白質.....296  
尿崩症.....163  
尿路結石.....167  
乳嘴腫.....171

## O

横隔膜弛緩症.....55  
オスグッド・シュラッテル氏病.....52  
オーレオマイシン.....569, 700

## P

ピネアローマ.....147  
プノイマトケーレ.....173

## R

鰯.....169  
卵巣出血.....569  
レイノー氏病.....568  
レツクリングハウゼン氏病.....173  
Rh<sub>0</sub>因子.....192, 410  
リチャード氏病.....40, 167  
離断性骨軟骨炎.....680  
淋巴液.....55  
淋巴管腫.....166  
流注膿瘍.....700

## S

細胞密度.....173  
細網肉腫.....163, 164, 169, 170, 174  
生体染色.....299, 525  
石灰腎.....56  
石胎.....168  
脊柱損傷.....91, 335, 472  
背髄.....458  
脊髓硬膜下急性膿瘍.....21-99  
脊髓神経節.....458  
仙腸関節結核.....143  
線維性骨炎.....172  
先天性股脱.....410  
尺骨神経麻痺.....172  
小腸腫瘍.....21-99  
消化吸収能力.....410, 500  
松果体附近組織.....411  
食道拡張症.....491, 569  
食道扁平上皮癌.....44, 169  
植皮.....49, 155  
シヨツク.....175, 607

小児麻痺	169, 415
手術的侵襲	48, 168
手術後の食餌	662
脂肪肝	410
脂肪輸入	21-1, 77, 217
死腔	148, 301
四丘体腫瘍	49
神経癱	169
神経再生	169
神経節腫	701
神経終末	169, 171, 303, 355, 406, 697
身体生殖器發育	411
シツベル病	164
失語症	169
双角子宮	700
脾臓外科	169
砂時計腫	299
スポーツ骨折	392
スポンゼル	49
ストレプトマイシン	54

## T

胆道出血	676
胆汁瘻	164, 172
胆石症	163, 168, 176, 570
低血糖性発作	163
停留睪丸	55, 570

テタニー	52
ティーツエ氏病	163
T. P. D	570
糖尿病	170
痛風	21-73
椎弓切除	49, 176, 643, 654
椎間軟骨ヘルニア	40, 167, 169, 299, 546
痛覚	21-31, 7

## Y

ヨード油障礙	466, 458
翼状頸	163
輸血	410
輸尿管膀胱吻合	701
輸尿管狭窄	701
遊離皮膚瓣移植	168
遊離椎間板片	687

## Z

坐骨神経痛	368, 410, 568, 687
前立腺癌	176
前脊髓動脈栓塞	167
全身麻酔	124, 169
頭部肉腫	56
頭部外傷	231
頭蓋骨欠損	174
頭蓋骨移植	174



## CONTENTS OF VOLUME 21

STUDIES ON THE INTRAVENOUS ADMINISTRATION OF FAT EMULSION.....	Y. HIKASA et al. ( 1 )
DOES ALLERGY PLAY SOME ROLE IN THE DEVELOPMENT OF BRAIN ABSCESS?.....	T. TOYAMA ( 14 )
RING-LIKE CELL INFILTRATION OF THE HIPPOCAMPUS IN MENINGITIS.....	T. TOYAMA ( 29 )
EXPERIMENTS IN REGARD TO SENSIBILITY TO PAIN (I) .....	K. OBA ( 31 )
ON THE LIVER FUNCTION IN CASES OF BONE-JOINT TUBERCULOSIS, PARTICULARLY THE EFFECTS FROM SURGICAL OPERATIONS (I) .....	S. TESHIMA ( 47 )
CHEMICAL STUDIES OF THE PUS IN BONE-JOINT TUBERCULOSIS .....	J. KASAI ( 58 )
A CASE OF GOUT .....	S. HATTORI ( 73 )
A CASE OF SNAPPING SHOULDER .....	S. TESHIMA ( 78 )
A CASE OF DERMOID CYST, WITH SUCCESSFUL REMOVAL IN THE ANTERIOR PART OF THE MEDIASTINUM .....	T. SATO ( 84 )
INTESTINAL PERFORATION OCCURRING IN THE LATER STAGE OF ABDOMINAL TRAUMA. REPORT OF TWO CASES .....	H. KURODA ( 89 )
A CASE OF RETICULOMA ORIGINATING IN TIBIA .....	T. HAYASHI ( 90 )

## CONTENTS OF VOLUME 22

HYSTERICAL SYMPTOMS IN SURGERY .....	CHISATO ARAKI ( 1 )
EXPERIMENTS IN REGARD TO SENSIBILITY TO PAIN(II).....	K. OBA ( 7 )
ON THE LIVER FUNCTION IN CASES OF BONE-JOINT TUBERCULOSIS, PARTICULARLY THE EFFECTS FROM SURGICAL OPERATIONS(II).....	S. TESHIMA ( 19 )
THE INFLUENCE OF TRANSFUSION OF THE HEMOLYZED STORED BLOOD ON THE FUNCTION OF THE KIDNEY .....	G. MATSUKI, I. YOKOYAMA ( 30 )
ON A CASE OF SO-CALLED RICHARD'S DISEASE WITH PROTRUDED INTERVERTEBRAL DISC .....	M. MORIYAMA, T. YOKOTA ( 40 )
SQUAMOUS CELL CANCER OF THE ESOPHAGUS WITH GENERALIZED METASTASIS, REPORT OF A CASE .....	S. KINOSHITA ( 44 )
THE PROBLEMS OF ABDOMINAL PAIN .....	CHUJI KIMURA ( 59 )
EXPERIMENTAL STUDIES OF TETANUS CONVULSIONS .....	WATARU YOKOI ( 67 )
HISTOCHEMICAL STUDIES ON THE INTRAVENOUSLY INFUSED FAT EMULSION (I).....	SAKAE ASADA ( 77 )
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE DESTRUCTION OF THE SPINE (I).....	SUSUMU HATTORI ( 91 )
INDICATION FOR PNEUMOTHORAX AS THERAPY FOR THE PULMONARY TUBERCULOSIS IN THE LIGHT OF CONSTRUCTION OF BRONCHIAL SYSTEM OF LUNG-LOBULES .....	NAOYUKI NAGASAWA et al ( 105 )
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE AUTONOMIC NERVOUS CHEMICAL TRANSMISSIONS.....	YASUSHIGE KATSUDA ( 111 )
LESIONS IN THE CEREBRAL CORTEX AND GENERAL ANESTHESIA .....	KENTARO KONDA ( 124 )
ON THE ADRENAL FUNCTIONS IN PULMONARY TUBERCULOSIS.....	TOMOYUKI NAKATANI ( 132 )
ECTOPIC PINEALOMA REPORT OF THREE CASES.....	NOBURU HOSHINO ( 145 )
DEBRIDEMENT OF TUBERCULOUS FOCUS AND TREATMENT OF DEAD CAVITY IN ILIOSACRAL JOINT TUBERCULOSIS .....	YOSHITO KIRITA et al ( 148 )
EXPERIENCE WITH LARGE FULL THICKNESS GRAFTS .....	YOSHITO KIRITA et al ( 155 )
COMPLICATE DERMOID CYST IN THE RETROPERITONEUM REGARDED AS SPLENOMA FOR A	

LONG FAIRLY TIME REPORT OF A CASE.....	YOSHIHIRO TANABE (159)
RH <sub>0</sub> FACTOR IN JAPANESE, ITS RELATION TO TRANSFUSION REACTION.....	IKUZO YOKOYAMA (179)
SPECIFIC OR UNSPECIFIC ANTIBODIES APPEARING IN THE CEREBROSPINAL FLUID IN SOME EXPERIMENTAL MENINGITIDES.....	HIROSHI SUMI (193)
A STUDY OF PROTEIN IN PUS SERUM.....	H. KUBOTA et al (206)
HISTOCHEMICAL STUDIES ON THE INTRAVENOUSLY INFUSED FAT EMULSION.....	SAKAE ASADA (217)
HEAD INJURIES—A STATISTICAL STUDY IN 399 CASES.....	TADAO OKAZAKI (231)
THE CORTICAL STIMULATION AND THE GASTROINTESTINAL MOTILITY.....	HIROHIDE ONO (251)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE TENDON-MUSCLE SPINDLE .....	YOSHITO KIRITA (269)
INFLUENCES OF THE TENSION UPON THE NERVOUS ELEMENTS OF SKELETAL MUSCLE (I) .....	EIICHI YOSHIKAWA (276)
A CASE OF A NON-SPECIFIC GRANULOMA IN THE POSTERIOR MEDIASTINUM WITH A SUCCESSFUL SURGICAL REMOVAL .....	SAKAE ASADA (285)
THE TRAUMATIC RUPTURE OF THE URINARY BLADDER, REPORT OF A CASE .....	BUNJI HAKAMADA (290)
ON A CASE OF SOLITARY EXOSTOSIS ARISING FROM ALAR SCAPULA .....	HIDEOMI SOMA (295)
NERVE ENDINGS IN SKELETAL MUSCLE.....	EISHI KONDO (303)
PREVENTION OF POSTOPERATIVE ADHESIONS.....	HIROSHI ASOH (310)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE LOCAL IMMUNIZATION IN THE LUNG BY BCG.....	YUZO SUGIMOTO (321)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE DESTRUCTION OF THE SPINE(II).....	SUSUMU HATTORI (335)
CHANGES IN THE VALUE OF THE SERUM AMYLASE AFTER OPERATIONS OF THE PANCREAS, ESPECIALLY TOTAL PANCREATO-DUODENECTOMY, THE CLINICAL SIGNIFICANCE OF THE SERUM AMYLASE DETERMINATION FOR THE DIAGNOSIS OF PANCREATIC DISEASE .....	HIROSHI UENO (346)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE NERVE ENDINGS OF THE SKELETAL MUSCLE, ESPECIALLY CONCERNING THEIR REGENERATION.....	TOSHIHARU KOTERA (355)
AN EXPERIMENTAL STUDY ON THE TREATMENT OF IDIOPATHIC NEURITIS.....	TOSHIHARU KOTERA (368)
INFLUENCES OF THE TENSION UPON THE NERVOUS ELEMENTS OF SKELETAL MUSCLE(II)...	EIICHI YOSHIKAWA (374)
AN INTESTINAL SARCOMA AFTER CROHN'S DISEASE .....	KIROKU KOGA (382)
A CASE OF CHRONIC REGIONAL IELITIS.....	TSUTOMU MIYAOKA (388)
TWO INTERESTING CASES OF SPORTSMEN'S BONE FRACTURES.....	JITSUTO KASAI et al (392)
ON A CASE OF FRACTURE OF PELVIS COMPLICATED BY OLD TRAUMATIC DISLOCATION OF LEFT HIP JOINT AND PSEUDARTHROSIS OF RIGHT FEMUR .....	YASUO YOSHIMINE (396)
AN INTERESTING CASE OF URINARY TUBERCULOSIS RESULTING FAVORABLY IN A NATURAL HEALING.....	TOSHIKUNI MASAKI (401)
ON THE NERVE ENDINGS OF SKELETAL MUSCLE IN THE HEMIPLEGIA PARALYTICA.....	EIICHI YOSHIKAWA (406)
ON THE TREATMENT OF SEQUELAE OF INFANTILE PARALYSIS AT THE FEET.....	YASUJI ARIHARA (415)
THE MECHANISM OF ACTION OF GASTRIC VAGOTOMY IN GASTRO-DUODENAL ULCER.....	TOSHIHIKO KAMEGAI (431)
A HISTOLOGICAL STUDY OF THE DUAL AFFERENT INNERVATION OF THE ESOPHAGUS OF	

THE DOG .....	NOBUTOSHI TANAKA (439)
HISTOLOGICAL CHANGES OF THE SPINAL GANGLIA, THE SPINAL CORD AND THE MEDULLA OBLONGATA, CAUSED BY REPEATED APPLICATION OF STRONG ELECTRIC.....	
CURRENTS .....	MASAHIKO HATAKOSHI (446)
EXPERIMENTAL AND CLINICAL STUDIES ON THE DISTURBANCES DUE TO MYEOLOGRAPHY WITH IODINE OIL.....	MASUTA MORI, et al (459)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE DESTRUCTION OF THE SPINE.(III).....	SUSUMU HATTORI (472)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE HISTOLOGICAL CHANGES OF INJURED PERIPHERAL NERVES WITHIN THE SKELETAL MUSCLES. ....	YOSHITO KIRITA (480)
STUDIES ON IDIOPATIC DILATATION OF ESOPHAGUS. ....	NOBUTOSHI TANAKA (491)
DIGESTIVE AND ABSORPTIVE FUNCTIONS OF THE GASTROINTESTINAL TRACT AFTER VARIOUS OPERATIONS OF THE PANCREAS, ESPECIALLY TOTAL PANCREATODUODENECTOMY...	
.....	KENZO HAMANO (500)
THE EXPERIMENTAL STUDIES ON THE OPERATIVE CLEANSING OF TUBERCULOUS FOCI IN BONE AND JOINT TUBERCULOSIS .....	HISASHI OTANI (509)
DEMONSTRATION OF THE CUTANEOUS NERVES WITH METHYLENE BLUE STAINING IN LEPROSY.....	TETSUO FUKUTA (525)
ON THE COMBINED USE OF ADRENOCORTICAL HORMONES AND VITAMINE C IN PULMONARY TUBERCULOSIS. ....	TOMOYUKI NAKATANI, et al (527)
AN EXPERIMENTAL STUDY ON THE METHOD OF PROMOTING TRANQUILIZATION OF PATHOLOGICAL CONDITION IN THE EARLY FLORED STAGE OF JOINT TUBERCULOSIS .....	HISASHI OTANI (533)
CLINICAL EXPERIENCES WITH B. E. S. (BALANCED ELECTROLYTE SOLUTION).....	
.....	HAJIME HANDA et al (542)
FIVE HERNIATED INTERVERTEBRAL DISCS OF THE CERVICAL AND DORSAL VERTEBRA.....	
.....	SUSUMU HATTORI (546)
BASALIOMA ORIGINATED IN THE ANTERIOR PART OF THE MEDIASTINUM WITH A METASTASIS IN THE RIGHT SUPRACLAVICULAR HOLLOW WITH SUCCESSFUL REMOVAL, REPORT OF A CASE .....	YUKIHIKO ISEDA (553)
RIGHTSIDED ULCERATIVE COLITIS. REPORT OF A CASE.....	TSUTOMU MIYAOKA (556)
BILATERAL CONGENITAL ELEVATION OF SCAPULA, ESPECIALLY A RESEARCH ON ITS CAUSE .....	TOSHIHARU KOTERA et al (559)
SPECIFICITY OF IMMUNIZATION IN THE LUNG .....	YASUMASA AOYAGI (575)
EXPERIMENTAL STUDY OF REFLEX SHOCK.....	SHIGERU IIDA (579)
HISTOLOGICAL CHANGES OF THE BRAIN IN CASE OF ELECTROCUTION .....	MASAHIKO HATAKOSHI (609)
GLIOBLASTOMA MULTIFORME .....	YUN SHANG HUANG (614)
EXPERIMENTAL STUDY ON THE PATHOGENESIS OF INTRACRANIAL ARACHNOIDITIS .....	HAJIME YORISHIMA (625)
CLINICAL OBSERVATION OF THE BRACHIAL LAMENESS BY "SEOIBUKURO", A KIND OF KNAPSACK, AND IST CHIEF CAUSE.....	TADAAKI SHIMAMOTO et al (635)
CLINICAL AND EXPERIMENTAL STUDIES ON OSTEOPLASTIC LAMINECTOMY .....	HIDEKAZU FUJITA (643)
A TRIAL OF STANDARD TABLE OF POSTOPERATIVE DIET AND ITS BILL OF FARE.....	TADAAKI SHIMAMOTO et al (662)
TYPICAL CANCER OF APPENDIX. REPORT OF A CASE.....	TOMOAKI GENGA et al (672)
HEMORRHAGE OCCURRED IN THE BILIARY TRACT WITH INDISTINCT CAUSES. REPORT OF A CASE .....	YASUSHI TSUDA et al (676)

REGARDING THE OSTEOCHONDRITIS DISSECANS.....	YASUJI ARIHARA et al (680)
SCIATIC PAIN CAUSED BY ISOLATED PIECE FROM INTERVERTEBRAL DISC.....	HIDEO DOI (687)
SUCCESSFUL REMOVAL OF A BRONCHIAL CARCINOMA REPORT OF A CASE .....	TAKESHI OGATA (691)
CHANGES OF NERVOUS ELEMENTS WITHIN THE MUSCLE OF THE INACTIVITY-ATROPHY .....	YOSHITO KIRITA (697)

## Index of Volume 21 and 22

## A

abdominal trauma.....	21-89
absorptive function, gastro-intestinal tract.....	500
adhesion, postoperative.....	310
adrenal function.....	132
adrenocortical hormone.....	529
allergy, brain abscess.....	21-14
amylase (serum).....	346
Ando, K. ....	542
anesthesia, cerebral cortex.....	124
antibody, in cerebrospinal fluid.....	193
Aoyagi, Y. ....	575
appendix, carcinoma.....	672
arachnoiditis, intracranial.....	625
Araki, C. ....	1
Arihara, Y. ....	415, 680
Asada, S. ....	21-1, 77, 217, 285
Asoh, H. ....	310
autonomic nerve, chemical transmission.....	111

## B

basalioma, mediastinum.....	551
BCG.....	321
B. E. S., balanced electrolyte solution.....	542
biliary tract, hemorrhage.....	676
brain abscess, allergy.....	21-14
brain, electrocution.....	609
brachial lameness.....	635
bronchial carcinoma.....	691
bronchial system, construction.....	105

## C

cancer, appendix.....	672
——, bronchial.....	691
——, esophagus.....	44
cerebral cortex, anesthesia.....	124
cerebrospinal fluid, antibody.....	193
colitis, ulcerative.....	556
cortical stimulation, gastro-intestinal motility.....	251
Crohn's disease.....	382
cutaneous nerve, leprosy.....	525

## D

dead cavity, treatment.....	148
debridement, tuberculous focus.....	148, 509
dermoid cyst, mediastinum.....	21-84
——, retroperitoneal.....	159
diet, postoperative.....	662
digestive function, pancreatoduodenectomy.....	500

Doi, H. ....	687
dual innervation, esophagus.....	439

## E

electric currents.....	446
electrocution, brain.....	609
esophagus, cancer.....	44
——, dual afferent innervation.....	439
——, idiopathic dilatation.....	491
exostosis, alar scapulae.....	295

## F

fat, intravenous infusion.....	21-1, 77, 217
fracture, pelvis.....	396
——, sportsmen.....	392
Fujita, H. ....	643, 654, 680
Fukuda, T. ....	525

## G

gastro-intestinal motility, cortical stimulation.....	251
Genga, T. ....	672
glioblastoma multiforme.....	614
gout.....	21-73
grafts, full thickness.....	155
granuloma, mediastinum.....	285

## H

Hakamada, B. ....	290
Hamano, K. ....	500
Handa, H. ....	542
Hashino, H. ....	676
Hatakoshi, M. ....	446, 609
Hattori, S. ....	21-73, 91, 335, 459, 466, 472, 546
Hayashi, T. ....	21-90
head injuries, statistical.....	231
hemiplegia, skelet muscle in.....	406
Hikasa, Y. ....	21-1
Hoshino, N. ....	145
Huang, Y. S. ....	614
hysterical symptom, in surgery.....	1

## I

Iida, S. ....	579
ileitis, regional.....	388
immunization, lung.....	321, 575
inactivity-atrophy, muscle.....	697
infantile paralysis, spinal.....	415, 563
intervertebral disc, isolated piece.....	687
——, protrusion.....	40, 546
intestinal perforation.....	21-89

Iseida, Y. .... 551

## K

Kamegai, T. .... 431  
 Kasai, J. .... 21-58, 392  
 Katsuda, Y. .... 111  
 Katsura, H. .... 662  
 Kawakita, H. .... 206  
 kidney function, in blood transfusion .... 30  
 Kimura, C. .... 59  
 Kinoshita, S. .... 44  
 Kirita, Y. .... 148, 155, 269, 480, 697  
 knapsack .... 635  
 Koga, K. .... 382  
 Kokuga, H. .... 206  
 Konda, K. .... 124  
 Kondo, E. .... 303  
 Kotera, T. .... 355, 368, 559  
 Kubota, H. .... 206  
 Kuroda, H. .... 21-89  
 Kuwabara, M. .... 635

## L

laminectomy, osteoplastic .... 643, 654  
 leprosy, cutaneous nerve .... 525  
 liver function .... 21-47, 19  
 lung, immunization .... 321, 575  
 lung-lobules .... 105

## M

Marui, K. .... 155  
 Masaki, T. .... 401  
 Matsuki, G. .... 30  
 medulla oblongata, electric currents .... 446  
 meningitides, experimental .... 103  
 meningitis, ring-like cell .... 21-29  
 metastasis, basalioma .... 551  
 ———, cancer .... 44  
 methylene blue staining .... 525  
 Miyamura, K. .... 206  
 Miyaoka, T. .... 388, 556  
 Mori, M. .... 459, 466  
 Moriyama, M. .... 40  
 myelography, disturbances .... 459, 466

## N

Nagasawa, N. .... 105  
 Nakada, K. .... 21-1  
 Nakajima, T. .... 529  
 Nakajima, H. .... 148  
 Nakatani, T. .... 132, 529  
 Narita, S. .... 206  
 nerve ending, skeletal muscle .... 643

..... 303, 355, 406, 563  
 nerve elements, skeletal muscle .... 276, 374, 697  
 neuritis, sciatic .... 368  
 Noda, F. .... 542

## O

Oba, K. .... 21-34, 7  
 Ogata, T. .... 542, 691  
 Okada S. .... 392  
 Okamoto, H. .... 105  
 Okazaki, T. .... 231  
 Ono, H. .... 251  
 Otani, H. .... 509, 533  
 osteochondritis dissecans .... 680  
 osteoplastic laminectomy .... 643

## P

pain, abdominal .... 59  
 ———, experiments .... 21-34, 7  
 pancreato-duodenectomy, amylase .... 346  
 ———, digestive and absor-  
 ptive function .... 500  
 peripheral nerve, skeletal muscle .... 480  
 pinealoma, ectopic .... 145  
 pneumothorax .... 105  
 protein, pus serum .... 206  
 pus serum, protein .... 206

## R

reticuloma .... 21-90  
 Rh factor .... 179  
 Richard's disease .... 40  
 ring-like cell, meningitis .... 21-29

## S

sarcoma, intestinal .... 382  
 Sato, T. .... 21-84  
 Sawamura, S. .... 672  
 scapula, congenital elevation .... 559  
 sciatic pain, intervertebral disc .... 687  
 seoibukuro .... 635  
 Shimamoto, T. .... 635, 662  
 shock, reflex .... 579  
 skeletal muscle, nerve ending ....  
 ———, 303, 355, 406, 563  
 ———, nervous elements .... 276, 374  
 ———, peripheral nerve .... 480  
 snapping shoulder .... 21-78  
 Soma, H. .... 295  
 spinal cord, electric currents .... 440  
 spinal ganglia, electric currents .... 440  
 spine, destruction .... 91, 335, 472  
 splenoma .... 159

Sugimoto, Y.	321
Sumi, H.	193

## T

Tan, N.	542
Tanabe, Y.	159
Tanaka, N.	439, 491
tendon-muscle spindle	269
tension, muscle	276, 374
tetanus	67
Teshima, S.	21-47, 21-78, 19
Toyama, T.	21-14, 21-29
transfusion, reactions	179
———, stored blood	30
Tsuda, Y.	676
Tsukada, A.	21-1
tuberculosis, bone and joint	21-47, 21-58, 19, 509, 533
———, iliosacral joint	148
———, pulmonary	132, 529
———, urinary	401

## U

Ueno, H.	346
ulcer, gastro-intestinal	431
urinary bladder, traumatic rupture	290

## V

vagotomy, gastric	431
vitamine C, pulmonary tuberculosis	529

## Y

Yamashita, M.	105
Yokoi, W.	67
Yokota, T.	40
Yokoyama, I.	30, 179
Yorishima, H.	625
Yoshikawa, E.	276, 374, 406, 559, 563
Yoshikawa, Y.	662
Yoshimine, Y.	396

## Z

Zaitsu, A.	21-1
------------	------

ARCHIV  
FÜR  
JAPANISCHE CHIRURGIE

XXI. BAND, 1. HEFT, 1. NOV. 1952.

日本外科寶函

第 21 卷 第 1 號 (復刊記念号)

昭和 27 年 11 月 1 日 發行

内 容 目 次

復刊の辞.....	荒木千里
復刊のことば.....	青柳安誠
日本外科寶函の復刊を喜ぶ.....	近藤鋭矢

【原 著】

経静脈性脂肪輸入に関する研究.....	日笠頼則外 (1)
脳腫瘍の成立にアレルギーが関係するか.....	登山威夫 (14)
髄膜炎時に於ける海馬部脳内への環状細胞浸潤の波及に就て.....	登山威夫 (29)
疼痛に関する実験的研究.....	大場一誠 (31)
骨関節結核症に於ける肺臓機能に就て特に手術の影響.....	手島宰三 (47)
関節結核に於ける膿汁の化学的研究.....	笠井貴人 (58)

【症 例 報 告】

痛風の一例.....	服部 奨 (73)
ばね肩の一例.....	手島宰三 (78)
前縦隔皮様嚢腫の剔出治験例.....	佐藤 堯 (84)
外傷性遅発性腸管穿孔の経験.....	黒田 秀夫 (89)
網状纖維腫 (Reticulom) の一例.....	林 孝夫 (90)

INOKO-ITO-VEREIN  
CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK  
KYOTO JAPAN

京都大学医学部外科学教室内

日本外科寶函編輯室



Lederle

# 血腫・膿胸の新治療剤

本剤は外傷、炎症後におこる凝固血液、血栓性又は化膿性滲出物の存在部位に適用される。  
 両酵素は凝固物や化膿性滲出物除去剤として働き体液や抗生剤の抗菌力の作用を容易ならしめ、回復経過を促進する。  
 【効能】 血胸及び血腫、膿胸、慢性化膿  
 【包装】 125,000単位瓶入

ストレプトキナーゼ  
 ストレプトドルナーゼ  
**VARIDASE**

**ヴァリダーゼ**「レタリー」

大阪市東区道修町 武田薬品工業株式会社 東京・札幌・福岡・名古屋・仙台

## 三共のスルファ剤

三共  
SANKYO  
共

高純度を誇る三共マークの製品を御指名下さい

日局 スルファチアゾール

**エスチゾール**

末 500g 1kg 錠 20人 600人

日局 スルファメラジン

**ピリミロン**

末 250g, 500g 錠 10人 500人

日局 スルファグアニジン

**グアセチン**

末 500g 錠 20人

日局 サルファダイアジン

**サルシアジン**

末 250g 500g 錠 10人 500人

スルファ3種配合剤

**タイアナジン錠**

チアゾール・メラジン・ダイアジン配合  
10人 20人

S-2

**大**

話題の最新サルファ剤

**腸菌感染12**



ロシュとの技術提携品  
 ロシュ商標名ガントリジン

淋疾・赤痢・肺炎・中耳炎に…

★尿路感染症・二次感染症の…大部分を占める大腸菌、変形菌に対しては他剤の追随を許さない。

★難症淋病…ペニシリンフェーストの薬にも卓効を示す。

- 特長
- 1.生理的に重要な中性一陽性電解質の液体中でよく溶ける。
  - 2.グラム陰陽両性菌特に大腸菌、変形菌に奏効。
  - 3.組織への拡散量多く有効血中濃度が高く長い。
  - 4.血尿、尿結石の心配なく腎臓患者への投与も安全。

**サルファジン**

サルファ イソオキサゾール

交末錠注	献	送	量
25g・100g・500g	15T	2.7T	
(0.5g)	20	5×1cc	
20	5×5cc		
20	10×1cc		
10	5×5cc		



SHIONOGI

大阪市東区道修町3 塩野製薬株式会社

SFZ-1

## 復刊の辞

日本外科宝函は昭和18年12月第20卷附録号を最後として、休刊した儘今日に及んだ。当時戦争の苛烈化によつて、印刷用紙の全国的不足を來し、他の多くの學術雜誌と同じく、休刊の余儀なきに至つたのである。其後戦争終了と共に、成るべく早く復刊すべきであつたが、本誌発行の母体たる猪子・伊藤両教授記念会の經濟事情が容易にそれを許さなかつた。この度やつと苦しい中から復刊を決意した。困難は当分つゞくことと思う。併し一旦復刊を決した以上、必ず続けて行くつもりである。既に故人となられた猪子止戈之助、伊藤隼三、鳥瀉隆三の三先生にもよろこんで戴けるであらう。

昭和27年11月1日

京都大学医学部外科学教室内  
猪子・伊藤両教授記念会

代表者 荒木千里

## 復刊のことば

青 柳 安 誠

日本外科宝函は昭和18年12月発行の第20巻附録を以てひとまず休刊しなければならなかつた。その理由は日本のあらゆる物資が太平洋戦争によつて欠乏を來した為、用紙もその例に洩れず遂にその筋から配給の停止を受けたことに在る。こう言つて終えれば眞に理由は明瞭で誰にも納得がゆきそうである。併し事實はこの間の事態が甚だ不明朗で我々には納得できなかつたものである。

当時外科方面に關係する定期刊行印刷物としては『日本外科宝函』のほかに『日本外科学会雑誌』『日本臨牀外科医会雑誌』及び『外科』の四誌があつて、これ等の中で用紙の配給停止を受けたのは本誌だけであつた。何故にこのような差別待遇を受けなければならないのか、その点がすこしも示されないので、私は荒木教授とも相談の上、東上して水道橋畔にあつた、時の情報局出版部を訪れて部長のA氏に面会しその間の事情を質したのである。

私は日本外科宝函がそれまでに果した日本の外科学界への使命を縷々と述べて本誌だけが斯る差別待遇を受けることの不合理であることを述べ今後も用紙の配給をつゞけて下さるよう懇願したのである。併しA氏の答は眞に冷やかで、『委員達の決定した事は絶対に動かすことができないし、考慮の余地は全く無い』という言葉一点ばりであつた。その態度と言葉の使い方には官僚独得の風があらわに見えて、私は甚だ不愉快になりそれ以上言葉を交わすことの無意味であることを悟つて直ちに帰学したのであるが、而も一方に於ては委員と称する人々の關係しているあらゆる定期刊行物はその刊行を続けていた。戦争に便乗した合理らしい不合理の犠牲になつて本誌は休刊しなければならなかつたものである。斯ることは舊に日本外科宝函のみに限らず、その後、に於て鳥潟先生が『免疫元及び免疫方法』を日本臨牀社から出版されることになり全ての印刷も更に当時としては立派すぎる原色版の附図までもできあがり愈々出版の願書を出した時に『出版の必要を認めず』という漠たる理由だけでの公刊が不許可となつた、これには日本臨牀社も弱つてしまい、為に日本外科宝函編集部が私的に出版して個々に贈呈したということまで起つたのである。そしてまた他方ではそれこそ文字通り出版の必要を認め得ないような単行本が次から次と出版されて行つた。これが敗戦間際の日本の姿であつた。換言すればこのような不合理が平氣で行われていたことが日本を敗戦の惨さに追いやつたと言つてもよいであらう。

敗戦の結果は周知の混乱である。特に經濟的混乱は我々に學的意欲は燃えあがつていながらも雑誌の刊行を阻んだ。そしてその間に空しく9年の月日は流れて行つたのである。我々としては眞に索寞たる気持ちたらざるを得なかつた。併し最近になつて日本のあらゆる姿も大体の安定さを回復して來た。

更に日本外科宝函再刊の要望が教室關係者を初め周囲からもりあがつて來た。本誌が過去に於て学界に対して示した結果からみて、これは當然の声である。我々は立たざるを得ない。即ちここに再び日本外科宝函を刊行して本来の使命に邁進する所以である。

## 日本外科宝函の復刊を慶ぶ

近 藤 銳 矢

私が整形外科の教授として北野病院から教室に帰つて来たのは昭和14年7月であつたが、その頃には満州事変に発した戦火は既に黄河、揚子江の流域にまで拡大し、教室の若い諸君は続々応召して行つた。併しその当時はまだ国内物資の不足も殆んどなく、印刷用紙の統制も強化されて居なかつたので、堂々たる体裁の外科宝函が隔月発行されていて、教室関係の諸君の研究業績は何の制限をも受ける事なく、立派な写真や沢山のグラフを伴つて実に華々しく掲載されていた。けれども10年以上を北野病院で過ごし教室に帰つて来たばかりの私には、未だ研究の方向もしかとは定まつて居ず、教室員をしつかり掌握する事さえ思うにまかせぬ時代であつたので、此の堂々たる外科宝函があつても之を利用する機会とて極めて少い有様であつた。

それから遮二無二努力した数年間が過ぎ、私の研究が稍々軌道に乗つて来た頃には、既に我が国は太平洋戦争に突入し、私の周囲からは大方の教室員は応召して、手足をもぎ取られた貌となつた教室では僅かに残つた兩三名の教室員も日々の診療が精々で、研究に打ち込む余裕とは全く無かつた。

私が日本外科学会の宿題「坐骨神経痛」を担当する事に決定したのは昭和18年4月であつたが、次第に苛烈となりつゝあつた本土空襲から患者を護り教室を防衛する為、夜となく昼となく教室に出勤し、その合い間合い間に宿題の仕事と取つ組まねばならなかつた。その頃になると国内物資の欠乏も甚しくなり、用紙の統制強化と印刷能力の甚しい低下のために、昭和18年末には日本外科宝函の刊行も休止の止むなきに立ち至つた。昭和19年になると国内の交通網は甚だしく安全性を失ひ学会の開催も困難と見られた。

これより先、昭和18年4月私は第19回日本整形外科学会々長を委嘱されていたので、私は会長として19年春学会を開催すべきか否かの決心をせねばならなかつた。昭和19年1月の或る日上京して軍民各方面の知人を訪問し、四方山の話の間に、事態の赴くところ予定通りに学会を開催する事は不可能に立ち至るであろうと言う空気を感取つた。そこで東大整形外科の教授室に在京前会長と幹事の参集を乞ひ、協議の結果総会の無期延期を決心して其の旨宣言した。私の此の意思表示は医学会としては最初のものであつたが、多くの学会は之に倣つた。開催の準備をした学会とても3月頃には全く開会を断念せざるを得ないのつびきならぬ情勢に追い込まれてしまつた。従つて外科学会に於ける私の宿題報告もお預けとなつた事は言うまでもない。

此の頃から私どもの教室生活は頓に厳しさを増して来た。日毎夜毎の空襲に患者を護り教室を護る事でくたくたになつた心身に鞭打つて講義を続けねばならなかつた。迫り迫る飢餓、栄養失調の脅威と戦いながらメスを執らねばならなかつた。そうしながらも後日の宿題報告にそなえて其れ迄の研究の間隙を埋めたり、或は研究の規模を拡大する為、こつこつと症例を稼いだ。そして家に帰れば乏しい食糧の足しにと庭先に南瓜を

のたarse、道路の両脇に甘藷を植え、或は屋根に木箱をのせて夫れにトマトを植える作業もやつた。軒先に生つた水つばい南瓜は上々の部、すいとん汁をすゝり、南瓜の葉を食ひ、甘藷の蔓までかぢつた。街からは犬も猫も凡そ食べそうなものは皆んな姿を消してしまつた。

昭和20年8月15日の昼まえ、錦林校の周辺では強制疎開の家屋に綱をくゝりつけて、勤労奉仕の男女がそれを引き倒していた。晴れ上つた夏空に敵のB29の爆音が聞えたと思うと、突如「バン」と言う異様な爆音が響いた。『スワ爆弾、いよいよ京都の番だ』と思つたが暫くして不図見上げると、平安神宮の森の上に青空をおゝつて数知れぬビラが舞い落ちて来る—日本の降服を告げる彼等のビラが。斯くして本学は戦災を免がれる事が出来た。寔に痛ましき幸であつた。

20年の秋から21年にかけて生き残つた教員が次々と歸つて来た。マラリヤで黄黒く水ぶくれた顔、栄養失調で蒼白にうだ腫れた顔、眼ばかり光つた黒く痩せた顔。これ等の人の多くは学問研究から隔離された数年間の空白を埋め度い一心で、取る物も取り敢えず研究室に飛び込んで来た。そして教室の無事を喜ぶと共に敗戦による虚脱状態から脱却しようともがき、若い感激と心の拠り所を学問研究に求めようと念願した。終戦直後の言語に絶する食糧難とたゞかい、研究資材の極度の不如意を克服しながら、はたの見る目もいぢらしい努力がなされた。一般世間の終戦ぼけを尻目に掛けて戦前と変らぬ活気が教室を支配するに至つたのも当然と言えよう。

日本外科学会総会も昭和21年5月駿河台の日本医師会館講堂で開かれた。照明も不十分な薄暗い会場で、拡声器もなしに甚だやりすらい宿題報告を私は行つた。それでも戦後初めて学会が開かれたのだ。その年の10月日本整形外科学会総会も我が外科整形外科講堂で開かれた。東京、九州等から立ち通しの満員列車に揺られて学会に出席し互に無事を喜び合つた人達も少くなかつた。

教室では人々の努力はやがて幾多の立派な業績となつて現われ、立ち遅れた我が国の学問の水準を高める為に役立つ所が大きかつた。所がこゝにはたと困つた事があつた。それは我々の周囲を見廻して見ても之等の業績を発表する為の完備した機関が全く無い事であつた。営利的医学雑誌は戦後2、3年にして雨後の筍の如く発刊されたが、肩書で売る記事、二、三頁の臨床経験、たかだか骨ばかりの研究要旨を並べるばかりで、実のある原著の掲載など思いもよらぬ所であつた。学会機関雑誌とても多くは有れども無きが如く、総会記事の掲載が精一杯で、学会号以外は世間の所謂カストリ雑誌にも劣る体裁であつた。数年前から日本外科宝函の復刊が要望され来つたのも寔に故ある哉である。荒木教授を始め関係諸君の非常な努力の御蔭で待望の復刊がようやく実現し、我々の周囲に初めて夜明けの光が差し込んで来た想いがする。これからは良い論文が立派な体裁で内外の学者の前に続々と見参に及ぶ事であろう。深き感慨を籠めて日本外科宝函の復刊を慶ぶ所以である。

昭和27年9月3日